

入場無料 ※基調講演はイタリア語（通訳あり）

2024年3月24日（日）

@鹿児島大学法文学部I号館2階 201教室

Zoom配信あり（URLは当日までに申し込みのアドレスに送信）

13:30 開場

14:00-14:15 趣旨説明

14:20-15:30 基調講演

ローランド・ミヌーティ「ヨーロッパの啓蒙思想と現代文化」

15:45-16:30 コメント

16:30-17:15 ディスカッション

司会・趣旨説明

藤内哲也（鹿児島大学法文学部教授／西洋史・イタリア史）

コメントーター

柴田健志（鹿児島大学法文学部教授／哲学・倫理学）

太田純貴（鹿児島大学法文学部准教授／メディア論・美学芸術学・美術史）

丹羽謙治（鹿児島大学法文学部教授／日本近世文学）

環境破壊、国際紛争、ジェンダーやダイヴァシティ（多様性）をめぐる議論や対立など、現代世界は近代社会の負の遺産というべき課題を解決できないまま、さまざまな危機に直面しています。では、近代社会の基盤をなすさまざまな原理や制度を準備した18世紀ヨーロッパの啓蒙思想は、現代文化にどのような影響を与えているのでしょうか。

本シンポジウムでは、ヨーロッパと日本やアジアとの文化的な関係にも着目しながら、18世紀ヨーロッパ思想史の専門家であるフィレンツェ大学教授ローランド・ミヌーティ氏の基調講演と、本学教員による哲学、メディア論、日本文学・文化といった多彩な観点からのコメントを切り口として、この問題について考えていきます。



参加を希望される場合は、**3月21（木）の14時まで**に上記からお申し込みください。

問い合わせ：鹿児島大学法文学部 藤内哲也 | ttonai@leh.kagoshima-u.ac.jp

# ヨーロッパ啓蒙思想と現代文化 — 日本・アジアとの関係から —